



発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
 電話 (018876) 代 2100 番 毎月 1日発行
 印刷所 小浜印刷所 電話 (018876) 2605 番 (1部5円)
 昭和37年12月5日第3種郵便物認可 郵便番号 018-17

町のおもな統計 (19)

工業 (産業分類別)		S 43.12.31調査			
産業分類	事業所数	従業者数		計	製造品出荷額等
食料品	24	男102	女 55	計157	94.891 万円
木材	47	584	674	1.258	303.265
家具	26	87	48	135	11.019
印刷	3	9	9	18	1.367
金属	12	14	7	21	888
合計	112	837	936	1.773	432.532

・ 秋田県五城目町 ・

※ 町政と町民をすむぶ広報紙



若い芽スポーツ少年団

写真は せいぞろいした団員

このあいだスポーツ少年大会で友情を深めた若い芽、学校の課外活動として活発におこなわれている。

12月 の お 事

- | | | | | | |
|-----|---|-----|---------------------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 1日 | 北ノ又冬期分校開校式 北ノ又
歳末たすけあい運動 (~31日) | 15日 | 年末年始食品一斉取締運動 | 国保運営協議会
午後1時30分第二会議室 | |
| 4日 | 時局講演会 (NHKニュース解説の
坂田二郎氏) 信用金庫午後7時
第21回人権週間 (~10日) | 16日 | 卒浦大学午後1時30分中公 | 26日 | 種苗交換会視察検討会
午後1時30分第一会議室 |
| 11日 | 12月定例会招集 | 21日 | 家庭の日 | 27日 | 御用納め |
| | | 23日 | 農村婦人健康生活推進協議会部
リーダー講習会午後1時30分第一会議室 | 31日 | 年越、大みそか |
| | | 25日 | クリスマス | | |

▽ 第九十三回種苗交換会は明年十一月十八年振り本町で開催されることになった。今からその準備を進めているが、全町民の心の備えも大切である。まず親切運動である。心と心の触れ合いは成功、不成功に大きく影響するのである。清掃運動花いっぱい運動と観光の宣伝、郷土芸術の番楽と大名行列の紹介など農工商一体の大祭典の場として二万町民総参加のもとに悔のない意義ある交換会にしたものである。加藤水道課長

▽ 本町の特産物は打刃物とタンス、建具であるがお菓子類になるとちょっととまどう。幼い頃母は市場からよく根花餅を買って来てときの感触、キナコをつまんだときの感、キナコをつまんで食べたときの口触りは何んともいえない良いものであったつまり味のない味の良さでも言うか変んな表現かもしれないがリズムのない民謡として秋田音頭はあまりにも有名であるがつまりその味である。広大な山を有する本町は根花餅を再現し土産品にしたいものである。

▽ 米作農業が今日大きな問題になっていくが、農民は何百年來先祖が考案した鋤耨農耕を受継ぎ、朝に露を踏み夕べに星を戴き血と汗によって美田となし今ようやく機械化された。そして本町は勿論秋田県は米主産地である。うまい米を量産して全国にその価値を知らさしめるために迷うことなく前進してはどうか。



町功労者の

渡辺氏に藍綬褒章



渡辺綱彦氏

内閣は十一月八日に藍綬褒章の授賞を発表、その中に昨年十二月十四日町功労者の表彰をうけた渡辺綱彦氏(61)が交通、観光両面の功労が認められ晴れの授賞者に輝いた。



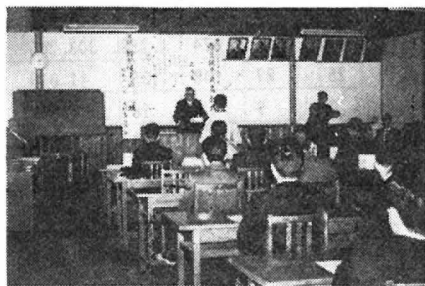
千田栄治氏

授賞式は十一月二十日東京大手町の気象庁講堂で行われた。渡辺氏はこれまで昭和三十年に仙台郵政局長、三十五年には新潟陸運局長、四十年には運輸大臣な

内閣は十一月三日付で秋の叙勲賜杯発表、本町からは消防に貢献した功績が認められ元第十三分団長の千田栄治氏(66)に勲七等青色桐葉章がおくられた。

カメラ・ルポ

第八回商工業優良従業員表彰式



11月22日商工会では第八回商工業優良従業員表彰式をあげた。永年同一職場に勤務し町の商工業発展に尽力した方を表彰したものの

大輪菊観賞会



11月3日の文化の日から3日間中央公民館で菊の愛好者が「明るい町に菊の花」を目標に大輪菊観賞会を催した。

恋地上部落に放送設備

火の用心にも一役

火災予防をはじめ積極的に部落づくりに取り組んでいる恋地上部落ではこのほど消防器具置場に放送設備をして、午前三回午後三回の時報をはじめ午後八時には火の用心をよびかけ、よろこばれている。

また、緊急の場合の連絡、部落の簡単な連絡など利用度も高く、部落の人気の的になっている。

恋地上婦人消防隊にポンプ

五月十一日誕生した恋地上婦人消防隊に十一月二十日ポンプが入り消防署、本部、団の指導のもとに訓練が行なわれ隊員の士気がお

うい、にあがった。今まで以上に火災予防と訓練にとめるよう誓いあった。

「家庭の日」です

冬休みの計画をみんなで話し合つて実行の出来るものを考えましょう。

子どもは、一休み中の生活のしかたを計画しましょう。次のことを考えて

◎きまりある生活をしましょう。

◎早寝早起の習慣をつける。

◎学習、遊び、テレビ視聴、家族との話し合い、楽しみ合う時間、家の仕事の分担などをくみ

いれて生活のプログラムを立てましょう。

◎寒さに負けないでからだをきたえましょう。

◎危険な場所に行かないようにし、できるだけ野外で元気に遊

所びましょう。

◎スキー、スケートも所定の場でよい指導者のもとでグループ

で正しく行ないきましょう。

◎家を出る時、どこに、だれとなしに、いつまでと必ず家の

人に話をしてその約束を守りましょう。

親一

家庭で、地域でみんなが声をかけ合つて、健康で楽しい生活ができるようにしましょう。

十一月の日誌

- 二日杉沢小、中学芸会
- 三日全県森山登山競技大会
- 四日自衛隊創立十九周年記念町内
- 広報バレット
- 五日馬川小学芸会
- 第十八回全国青年大会壮行会
- 中央公民館

七日農業祭賞状授与式

八郎湯入植者激励会

かくり病舎竣工検査

七日町正選挙推進研修会

八日秋家畜市場五城目家畜市場

九日レスリング団体選手優勝祝賀

会

十四日五城目幼稚園教育公開

臨時町議会

十五日全国青年大会出場報告会

十六日全町卓球大会

五城目小学芸会

十七日第六回健全青少年育成大会

老人ホーム全県施設長会議

二十日第三回農協婦人大会鶴ノ木

善意銀行運営委員会 第二会議室

二十一日第九分団消防林記念碑除

幕式高千公民館

二十三日五城目町生花総合展、町

民ホール

二十四日民生委員協議会第一会議

室

二十五日町内会長会役員会第二会

議室

二十八日全県健康な稲作り運動推

進大会 県立体育館

二十九日五城目保健所運営協議会

保健所

二十八日全県職員研修会(二十

九日)

三十日全町体力づくり推進のつど

親はもつと 愛情ときびしさを

青少年健全育成大会

町と青少年問題協議会共催の青少年健全育成大会は十一月十七日午前十時から約二百人が出席して五城目小学校で開かれた。

開会式のと青少年対策の現況警察署管内青少年対策の現況と問題点などの報告があり、非行少年の絶えないことを指摘された。

このあと落合子ども会、浅見内子ども会、富田子ども会、浅見内子ども育成会の松橋千代さんに知事表彰の伝達が加賀谷町長からなされた。

このあと実践発表にはいり、浅見内子ども育成会長松橋正之助氏から浅見内子ども会活動について富田子ども会育成会長石井良治氏から富津内子ども会育成会活動について、また、ばっきの会副

会長渡辺淑子さんから勤労青少年のグループ活動について発表が行なわれました。

午後からは研究討議に入り五城目第一中学校教頭小松正直、青少協世話人伊藤勇、連合青年会長一関立見の各氏から青少年の健全育成をいかに考え、いかに進めるべきか問題が提起され、司会者に町青少年問題協議会常任委員長の畑沢実氏、また助言者に五城目地区少年保護育成運営委員長長安東誠氏、町内校長会長広嶋元比古氏など五人があたり熱心に討議がかわされ出席者の中から「非行少年の発生は親の放任主義によるものが多いのではないか」などの質問が出され活発な意見がかわされた。

このあと秋田魁新報社編集局次

交通事故のない

明るい年末に

ルの実践を訴えていく。

◎歩行者、自動車、交通事故防止

歩行者は

1、横断は左右を確認し手をあげて車の停止を確かめてさっさと渡る。

2、車のかけから急に道路にとび出さない。

3、車のスピードに対する感覚、判断を身につける。

自転車は

1、左側一列進行を実行する。
2、右、左折するときは、手をあげて合図し、対向、後続車に知らせる。
3、ブレーキ、ライト、後部反射器の整備を完全に行なう。
4、雨の日、雪の日は、細心の注意をもって運転する。

1、車を出動するときは、酒飲み運転しないよう必ず声をかけて送る。
2、車を運転してきた人には、絶対に酒をすすめない。
3、酒を飲んだときは、絶対に酒を飲まない。
4、酒を飲んだ人には絶対に運転させない。



写真はグループ活動の発表

えて社会環境の浄化につとめ、正義を愛し、罪悪を憎む健全明朗な青少年の本性をちからう旨大会宣言して有意義なうちに閉会した。

長の安藤五百枝の「あすをきずく青少年」の講演、また児童憲章の精神を尊重し、全町民あいたずさ

第四回臨時町議会

昭辰橋かけ替えなど可決

第四回臨時町議会は十一月十四日召集され、災害復旧工事などの一般会計補正予算を審議した。一般会計補正予算二〇、五一一千円を可決した。

この予算のおもなものは農業水産施設災害復旧費一二、四七〇千円、公共土木施設災害復旧費八、五八六千円である。この中には久保頭首外三件、町村線外五件、昭辰橋外一件など予算化された。

中学生

露天市場で明るい選挙をよびかけ

明るく正しい選挙推進協議会(会長安東誠)では十一月二十日とらしい豊かな社会をつくることと選挙の関連性をテーマに露天市場で弁論大会を催した。当日はおだやかな天候に恵れ五

酒飲み運転の追放



たばこは町内から

- ※ たばこは町内から……おでかけまえにたしかめましょう。
- ※ たばこ消費税は100円につき18円です。
- ※ 毎月120万円前後のたばこ消費税が町にはいっています。
- ※ 町づくりに協力しましょう。

町内のたばこ屋さんから

工業統計調査

通産省では、三十一日現在で工業統計調査を実施します。

いつも統計調査に当り協力をお願いしておりますが、調査員が訪問の際はよろしくお願ひします。なお調査員は次のとおりです。

佐藤友治(古川町) 渡辺悦郎(築地町) 千田良次(岡本) 齋藤諒一(縮越) 伊藤久夫(黒土)

城目第一中学校校員田真喜子、猿田秀樹、八柳知徳、沢田石史子さんの正しく明るい選挙のよびかけに熱心に耳をかたむけていた。

《ごみ収集日》

家から出るごみ収集日は次のとおりです。

町名	12月			1月
	1回	2回	3回	1回
希望ヶ丘	4	12	22 29	12
田町	4	12	22 29	12
今町	5	15	25	7
御蔵町	5	15	25	7
小池町	5	15	25	7
川原町	1	11	19	13
新町	6	16	24	8
一番町	6	16	24	8
古川町	6	16	24	8
新畑町	7	17	27	10
矢野崎	7	17	27	10
紀久栄町	1	11	19	13
長町	3	13	23	6
仲町	3	13	23	6
米沢町	3	13	23	6
築地町	9	18	26	9
畑町	9	18	26	9
昭辰町	2	10	20	6
雀館	2	10	20	6
中川原	2	10	20	6
館町	2	10	20	6
岩城	2	10	20	6

※ 収集車の巡回について、次の事項にご協力下さい。

- 1、 収集車が町内を巡回する前に各自ごみ容器を道路へ出しておくこと、また容器の近くに収集車の邪魔になるような物を置かないように
- 2、 収集車が入って行けない小路に面している方は当日巡回道路まで容器を適当な場所へ持出しておいて下さい。
- 3、 ゴミ容器には名前をつけて下さい。

◎ごみ処理手数料3期分は12月25日納期です。

《水道課からのお願い》

いよいよ、冬の訪れです。水道管の凍結防止のために、不凍栓の使用をお忘れなく。

メートル器も取付け場所によっては、凍結破損しますので、一月から三月までの検針休止の間、保温保護にご協力下さい。

歳末たすけあい運動

五城目町社会福祉協議会(会長 加賀谷力司)ではみんなが明るく楽しい正月を迎えるため一日から十五日まで歳末たすけあい運動を実施します。よろしくご協力下さい。

歳末たすけあい運動は歴史的に共同基金よりずつとふるいものでむかしは、貧しい家庭では正月を迎えるのに餅を買えず、子どもたちのごこえた手を瞬める炭も買えないという悲しい現実がありました。

教育委員会事務局(二一〇番)に問い合わせ下さい。住民登録をしていない方は至急手続きをして下さい。

毎週水曜日役場で心配ごと相談所

五城目町社会福祉協議会では毎週水曜日午後一時三十分から三十分まで生活苦や生活上のこと、就職のこと、健康、医療のこと、子どもや老人のこと、家庭内のこと、住居のこと、結婚、離婚のことその他心配事などについて、役場が相談にあたっています。



年金制度は通算されます

わが国は国民皆年金を達成して会社や工場、あるいは官公庁にお勤めの方は勤務先で厚生年金保険や共済組合に加入し、農林水産業や自営業の方は国民年金の被保険者となってその老後を年金制度の保障のもとにおくることになっております。

ところが、職業をいくつか変えたため、一生の間はいくつかの年金制度に加入した人の場合は、すべての制度の加入期間を通算することになっていないと、一つの制度に長い間加入していた人たちと比較して著しく不利になります。これはなだしいときは、どの制度も加入期間不足で年金がもらえないことがあるかもしれません。

このようなことにならないように、昭和三十六年に通算年金制度が設けられました。すなわち、い



くつかの年金制度に加入したときは、すべての制度の加入期間を合算し、一定の年数に達していれば各制度がその加入期間に応じた通算老令年金または通算退職金を受けることができるようになります。

通算年金制度を理解して、できるだけ年金に結びつけるようにしましょう。

戦没者叙位叙勲を受けていない遺族へ

新憲法下において国の義務として三十九年から始めた戦没者叙位叙勲事務は四十四年度に終了することを目標にして、県と町では対象遺族の確認の事務作業をいそいでおります

しかし、ご遺族の住所が判らないため内申できずに保留となっているものが多数あります。甥と姪、従兄弟など血縁が薄くなるほど無関心の方が多い傾向にあるように思われますので、ご英霊の偉勲を永久に顕彰するため是非申し出るようにして下さい。

新入学児童の健康診断

昭和四十五年度新入学児童の健康診断は次の日程で行なわれます

五城目小十六日午後一時三十分
馬場小十八日午後二時
馬場小四日午後一時三十分
富津内東小九日午後一時三十分
大川小五日午後一時三十分

該当者で通知書の届かない方は教育委員会事務局(二一〇番)に問い合わせ下さい。住民登録をしていない方は至急手続きをして下さい。

町税完納にご協力を

十一月一日から始った町税完納月間もいよいよ後半に入ります。前半は農村部の納税活動が活発に行なわれ大きな成果をあげた。後半は商工関係を中心に進め一〇〇%完納に積極的に取り組みたい。

今月は町税の最終納期です。完納で住みよい暮らし魅力ある町づくりをしましょう。

力作百二十点が揃う

いけ花総合展に目をみはる

いけ花の各流派の交流と創作意欲を高め、町民の生活文化に対す



写真は いけ花総合展会場

る理解を深めることをネライとして「第一回いけ花総合展」はさる十一月二十二日、二十三日の両日町民ホールを会場にして開かれたこの総合展には草月流、小原流松生派、安達式、池ノ坊、竹青会古流、竜生派、大和華道、草楓流の十流派が参加し百二十点におよぶ力作を出品した。

あなたの善意を窓口

善意銀行五城目支店(役場内)では社会のため何かしたい。恵まれない人々を助けてあげたい。という誰でも持っている暖い善意を、銀行のように預金という形で登録しておいて、しあわせな社会を築

火災予防に万全を

- 1、寒さが加わるとともに、火気の取扱う量もふえてきました。火災はこの時期を契機に毎年ふえています。ちょっとした不注意から思わぬ惨事をひき起こします。家族で火の取り扱い方についてもう一度検討してみてください。
- 2、ストーブや煙突の取り付け方

は、消防署の係員の指導を受けて設備するようにしましょう。火事のほとんどは、火を使っていた人の不注意によるものといわれています。電気アイロンのスイッチの切り忘れ、残り火の不完全燃焼など、ちょっとした不注意によるものです。

- 3、火事のほとんどは、火を使っていた人の不注意によるものといわれています。電気アイロンのスイッチの切り忘れ、残り火の不完全燃焼など、ちょっとした不注意によるものです。
- 4、たばこによる火事は、いちば

くために、どのような小さな善意でも効果的に生かして社会に役立たせてゆくのが善意銀行です。みなさんの技術・労力、金品など、どんなささやかな善意でもお寄せ下さい。

老人と交流、老人の考へ方、暮しむき話を話し合い、生徒たちからチリ紙が送られた。▽十九日五城目磯釣会(会長渡辺悦郎)から魚六キロ寄贈された。老人たちは珍しい魚におおよろこびであった。▽二十四日一番町老人クラブから蔵書一三〇冊▽十一月十日鶴ノ木劇場(菊地耕二)の招待で「日本海大海戦」を観賞老人たちはおおよろこびであった。

七日今村ミチさん(米沢町)から座ぶとん十九枚おくられた。また今村さんの小さい時からの宝の布でつくられた座ぶとんは老人ホーム長老の八十八才の松村サダムさんにおくられた。▽十日和光会(代表伊藤真人)から絵画十点开くられた。▽十二日伊藤止一郎魚店から新しくできた池に鯉八キロ寄贈された。▽二十四日鹿角リソ組合からリソゴ十六箱寄贈された。▽二十四日五城目民生委員協議会員が慰問に訪れた。

ん多く発生しています。時に、お酒を飲んでからの寝たばこは危険です。寝具などに燃え移り一酸化炭素中毒死の原因となることもしばしばあります。

正しい取り扱いをしましょう。6、最近ではプロパンガスによる事故がふえています。プロパンガスは非常に便利なものですがこのガスは、空気より重いため漏れたと下に溜まり、冷蔵庫自動スイッチの火花でも爆発することがあります。勝手にホースを取りはずしたり調整器をいじったりすることは危険です。ゴムホースは二年以内に取替えるようにしましょう。

十二月の検診関係ご案内
十二月の(血圧測定)をはじめ貧血検査の実施について、次の日程で行ないますので、多数受診されますようご案内します。

- 貧血検査
- 一・一〇〇〇 恋地・坊井地
- 一・二一五〇 寺庭・蓬内台
- 一・二一六〇 帝釈寺・小倉
- 一・二一七〇 杉沢
- 一・二一八〇 久保・館越
- 一・二一九〇 水沢・平ノ下

経費は全額町で補助しますので自己負担はありませんので、そらって受診されるようおすすしませ

住宅と税金

土地や住宅などを買ったり建てた場合は、不動産取得税(県税)がかかります。税率は土地や住宅の固定資産税評価額の三%です。なお、住宅を新築した場合は、新築価額(固定資産税評価額)から百五十万円が特別控除されます。

くらしのなかに 「放送」を生かしましょう

▼テレビを生かした茶の間づくりをしてみませんか

どこの家庭でも茶の間は一家だんなの部屋で、かつては他人を入れる場所ではありません。ところが茶の間のテレビにはいろいろな人物、事件があらわれて親しもうにあなたの家族に話しかけてきます。

それがスイッチ一つで、赤の他人があなたの茶の間にあがりこんでくるのですから番組のえらび方には気をつけたいものです。

茶の間のテレビの特徴はいろいろな訪問客を迎えるのに、それを迎える側にならぬ準備、心がまえが出来るにないことが多いということです。

茶の間にふさわしい番組を選ん

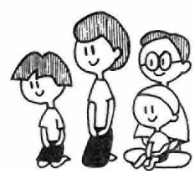
でみる時間などを工夫してみましょう。

▼テレビを上手に利用してあなたのくらしを高めてみませんか

1「自分の番組」をもとに
ドラマとテレビにおぼれる視聴態度、何の目的もなく、気分まかせて時間つぶしにチャンネルをひねる。こういう見方はテレビのドレイにすぎなくなりました。これをふせぐには「自分の番組」をもつことです。

いくつかの番組の中から子ども、学生、おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさんがそれぞれ、これと想うものをいくつか選んで、家族みんなでのみたい番組と調整して計画的に自主的にみるようにしたいものです。

テレビをみる時間をきめ、よい番組をえらび、みる時間を守る習慣をつけましょう。
2「家族の番組」をつくらう
家族の結びつきを切りはなしてしまったといわれるテレビですが家族がそろうてみることに



テレビの家族

はむしろ深める効果があります。週に何本か家族みんなでたのしめる番組を「家族会談」で選び、その時刻にはつとめてテレビの前にすわるようにしましょう。
おとうさんのヒザの上に抱かれた坊や、おばあさんと並んだ娘さ

ん、このようなテレビを見る家族の構図によって一家だんなはますますよいものになるでしょう。
3「家族の話し合い」をすすめよう
テレビはつねにいろいろな話題を家庭の中にもちこみます。その話題は単なる話題ではなく、お互いに話し合うことにより世代的断絶をなくし、現実を判断するための具体的な手がかりとなります。

放送内容に対する家族の反応がお互いの心の内をテレビが引きだしてくれまますし、家族のきつなを強いものにすることでしょう。

あなたの 体力が倍増します

「スポーツ指導」 十四日に開催

町民の体力の向上とスポーツ活動の日常化をすすめるための「ス

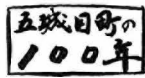
ポーツ指導」を県教育委員会と町教育委員会が主催して十四日(日)五城目小学校を会場に午前十時から開かれます。
これには県内の一流講師が指導にあたりますが、おもに体力をつけるための指導を重点にして軽スポーツ、トレーニングなどをおこないます。

体力の不足が今日大きな社会問題になっておりますが、体力づくりをはかるためにどなたでも参加できますので多数参加されますようのそんであります。
くわしいことについては中央公民館(電話四一〇番)へおたずねしてください。

五城目町文庫の利用を

五城目町文庫(中央公民館)では会議室を図書室にあてみなさんを使っています。
年末、年始の休みを利用して読書する計画をたてて下さい。図書の出貸しもししております。おうちに利用しましょう。

馬産の中心は馬場目。
六年 米価高騰三〇〇円から二四〇円。世界大戦の影響。
七年 石最高五二〇円。シベリア出兵。不景気。米騒動起る。
十年 不作。石四五円
十四年 不況のどん底。石四四円



問題はらむ農村

14

小野 一 二

大正時代は第一次世界大戦を中心とする異常な好景気と世界的恐慌に象徴される短い時代である。しかし農村は好景気に関係なく、不況だけは直接的に影響するありさまであった。農村にとって大正時代は暗い谷間の時代だった。

たとえば「豊作貧乏」ということばがはやった。作柄がよいとかえって米価が下がって農家の生活が苦しくなるという、まことに矛盾を起した。乾田馬耕・ハサ掛け

盾した世相を一言でいい表わした流行語である。古米問題のうるさい昨今も、一種の「豊作貧乏」の時代ではなからうか。
明治の秋田米は乾燥不十分で、「秋田の腐れ米」とよばれ値段も全国最下位であった。晩生種が多く、ハサ掛けをしないで地面にたてては明治三〇年頃から腐米改良運動を起した。乾田馬耕・ハサ掛け

法を奨励するとともに、米の検査制度をとるなど、品質の改善をはかった。これには石川理紀之助などの運動が大きかった。
大正十年(一九二一)大曲市の農林省農事試験場陸羽支場で陸羽一三二号が生まれた。これは品質はよいが病気に弱い亀の尾と、強くて収量の多い愛国を交配した新品种で、当時のあらゆる品種に比べてすぐれていたから、県の奨励品種となった。しかし農家の人々は保守的で、仲々これをとり入れようとしなかった。昭和六年、九年の大冷害で陸羽一三二号の優秀さが立証されて、大半の農家が植えつけるようになった。また明治

末から化学肥料が多く使用されるようになり、湿田が乾田に移行されつつあった。
こうして秋田米の声価も高まり米の移出が年々増加するようになった。冷害に強い品種が生まれたので、五城目の山よりの部落では沢田の開発が進められた。沢の冷水のかかる日照の少ない沢田は、大正から昭和初期にかけて開田されたものが多い。
年表風面に書いてみよう。
元年 凶作。米価高騰三二〇円。
二年 凶作。米摺兼精米機發明され三年頃町に導入。馬匹改良を県が指導。馬市盛んになる。高性寺・川寺境内が馬市の場所。

ある町の不景気をさぞった。きつに十年の大火(①参照)が不況に拍車をかけた。これを抜け出すために町の近代化がはかられた。